



図表② 旧小学校区ごとの人口の見通し

これらが現実化すると、本町の魅力が低下し、ますます人口減少が進むことにもなりかねません。

まちづくり活動へ積極的な参加を

こうした不安が現実化しないよう、役場では「賑わいのあるまちづくり」に向け、定住対策や雇用の場の創出などに取り組みます。他方、国と地方の関係が中央集権から地方分権へと転換され、今後とも様々な権限や事務が町に移されます。限られた財源でこれまで以上に地域の自主性、創意工夫が求められてきます。こうし

た状況で地域づくりを進めるには、行政の取り組みだけでは十分ではなく、町民の皆さんのまちづくりへの積極的な参加が不可欠です。

2. 本町のまちづくりの取り組み

集落での取り組み

まずは、自分の集落のことをよく知ることが重要ではないでしょうか。本町では、集落の魅力や課題、将来像を話し合う「集落の健康診断」を進めています。これは意識の共有を図り、問題の解決に向け、実行するためのものです。そして、課題の克服に向けた集落の取り組みは「大山町地域活性化支援事業交付金」により支援されています。ぜひとも集落での活発な話し合いや活性化の取り組みを進めてください。

まちづくり地区会議の取り組み

「担い手」が少なくなることで、個々の集落だけでは行事や取り組みがでなくなることにも心配されます。こうしたことに備えるため、個々の集落単位ではできないことを行ったり、集落を助ける仕組みを皆さんの積極的なまちづくり活動への参加により築くことが必要です。

現在、各集落から「まちづくり委員」さんを選出いただき、集落範囲を超えた旧小学校区単位で「まちづくり地区会議」を開催し、地区の課題の話し合いや、まちづくり活動の実行に取り組んでいます。ぜひとも「まちづくり地区会議」の活動へのご協力とともに、まちづくり活動に積極的に参加してください。

様々な分野でまちづくりに取り組む

団体・グループのネットワークづくり

集落や地区を範囲とした取り組みとともに、高齢者・障害者福祉、子育て、農業、環境、食育、ものづくり、起業、観光、防災など様々な分野で活動する団体・グループをネットワーク化し、分野間での協力・連携による新たな取り組みや事業を生み出していくことも必要です。また、集落や地区でのまちづくりの活動を進めるには、こうした団体・グループの協力が不可欠です。

本町では「まちづくり地区会議」と様々な分野の団体・グループとの連携の橋渡しや、団体・グループ間の交流を深める取り組みを進めます。

◆◆◆ 交流会のお知らせ ◆◆◆

大山町を元気にしようとして活動する団体・グループが幅広く集う交流会を行います。大山町へ熱い思いをお持ちの皆さま、お仲間をお誘いのうえ、ぜひご参加ください。(参加無料)

演題

「地域の未来を切り拓く住民参画によるまちづくり」

◆◆◆ 日時

◆◆◆ 2月18日(土) 14時~16時

◆◆◆ 場所 保健福祉センターなわ

◆◆◆ 講師 消費者庁長官・元我孫子市長

福嶋 浩彦さん

◆◆◆ 問い合わせ先

企画情報課・未来づくり戦略室

☎ 0859-54-5202